推 薦 図 書

学　科：　文学部　現代日本文化学科	氏　名：　荒木 龍太郎
書　名：　読書力	
著者・訳者：　齋藤孝著	
出　版　：　岩波書店　2002	

〈推　薦　文〉

PC, Web, スマホなど使って情報を操作し、知識を獲得してそのスピード感に夢中になっているけれど、何だか「考える」ことを忘れてしまっているように感じないだろうか。デジタルの世界では肝心のことが「身」につかず、表面を流れ去るような感覚しか残らないのではないだろうか。

ならば泥臭い、アナログの「読書の世界」に一度、どっぷりつかって極め楽しんでみてはどうだろか。異質のアナログの「読書の世界」で「考えること」をしっかりと「身」につけるのである。不透明な時代、「考える力」こそが確かな展望を切り開くからである。

そこで斉藤氏の『読書力』をお薦めする。本書は読書をスポーツと捉え、その技を伝授しようとする。つまり読書の方法を獲得し「思考力」を身につけるための様々な実践の技法、コツを順序よく具体的に分かりやすく開示している。一読すると、自分の「読書の技法」を開拓できる。その「技」で「自分の世界」を創れるのである。